

平成 28 年度 第 2 回 学校協議会

平成 28 年 11 月 18 日（金）、本校校長室において、第 2 回の学校協議会を開催しました。公務の関係で中谷健二委員と西田彦次委員が欠席、後藤るみな委員が代理出席となりました。学校側からは、校長、教頭、事務長、各分掌長が出席しました。

今回の協議会では、授業見学をしていただいた後、分掌等の取り組みの進捗状況や S G H の取り組みについて説明し、また、再編整備の状況等をふまえて、本校の課題について、議論をしていただけるものとなりました。

内容

1 授業見学 14：25～15：15

委員の皆さんに 6 限の授業を見学していただきました。

2 協議会 15：30～17：00

① 学校長挨拶

② 委員紹介・事務局員自己紹介

③ 協議会委員の交代の説明

④ 協議事項

- ・ 授業見学について
- ・ 授業アンケートについて
- ・ 各分掌等における取組計画の進捗について
- ・ S G H について
- ・ その他 本校の課題など

⑥ 連絡 第 3 回の開催を 3 月上旬

3. 委員からの意見等

【授業見学について】

- 小規模で丁寧な指導がなされていた。先生の目が行き届いて良いと感じた。
- 授業の人数が 2 人でも 1 人でも先生がきちっと指導されている。先生方の苦労もあると思うが、子どものニーズに応え、人数が少なくても教材研究をされていると思う。この指導スタイルが能勢高校の売りであり、中学生にもそこを推している。
- きめ細やかな対応をされていると聞いていたが、実際に見てみても本当に少人数教育を実践されていることが分かった。進路に向かって生徒の頑張りをサポートしているように思う。
- プリント学習については、どうかと思う。教科書を開けていない生徒がいることも問題ではないだろうか。予習の習慣がついていないのではだろうか。生徒との信頼関係ができているので、もう少し予習や学習方法に関しての指導をしていくべきではないか。空欄を埋めるというスタイルではなく、自分で考えて内容をまとめる箇所が多数ある授業も行われていた。先生同士の交流がもっと必要で、それができれば今後もっと良い授業ができると思う。

【授業アンケートについて】

- 授業によっては予習してこないと受けられないというものもある。全部が全部予習していないわけではない。進学志望の生徒は予習をしているように思う。
- 2年生は1年生の時よりも、3年生は2年生の時よりも伸びている。3年生は予習・復習が高い数値を示している。3年生がより数値を引き上げていることがわかる。
- 中学校でも中学1年はモチベーションが高く、2年が低く、3年は進路があるから高くなる。高校も一緒なのかという気がする。

【分掌等の取り組みの進捗状況について】

- 途中退出しても、帰ってこない生徒はいないと聞いて、落ち着きを感じる。
- 遅刻数が減っており、遅刻の習慣が減るようにとの指導の成果が現われている。
- 塾に行かなくても進学が可能だと実感している。少人数教育であるがゆえにコミュニケーションをとるという面で少し心配していたが、先生方の協力もあり、SGHに参加したことでバランスよく能力が伸びて良かった。
- 各分掌の取り組みが、分掌・教科・学年も含めて、PDCAサイクルで回していることを見習いたい。4年前からとのことだが、数値でどれだけ評価するかは難しいだろうが、評価の指標や工夫なども教えてほしい。
- 小・中学校でも分掌があり目標も立ててもらっているが、このようなシートまでは作れていない。具体的な目標を掲げている先生の授業などは変化しているので、小・中学校でも実施したいと思う。制度として外部評価をしてもらおうという機会は少ないが、ぜひ取り入れたい。

【SGHについて】

- 現場だけでなく、行政の方も能勢高校のバックアップをお願いしたいと思う。

【本校の課題について】

- 中学校の保護者にどのように能勢高校をPRしていくか考えることが大事である。
- 子どもの中には、能勢高校に対して良くないイメージを持っている生徒は少ない。むしろ、保護者の印象がいまだに良くないように思う。能勢高校は「公立高校のすべり止め」にすぎず、第一志望にチャレンジして駄目だった時の保険になっている。
- 中学校としては、独自に能勢高校のチラシを作ってアピールしている。色んな利点（経済的・時間・予備校不要など）を掲げて生徒には伝えている。しかし、一度町中に出たい、人間関係をリセットしたいと言う生徒もいる。
- 中学生は少し不安に感じていたが、説明会をしてもらって安心感が広がっている。
- 進学ランキングで見ると、能勢高校は決して悪くない。大阪府下の高校でも真ん中周辺に位置している。なので、現場で積極的にそのランキングを見せることや通学時間にも余裕ができるという点を指導してほしい。
- クラスを進学クラスとそれ以外に分割すべきではないだろうか。将来の夢が似たような人で構成されるクラスができたほうが良いように思う。
- 中学生のモチベーション・能勢高校への意識づけもあるが、様々な意見を聞きながら、連携枠の定員について考えていきたい。
- 今後、再編整備が進展していくが、学校全体で頑張っ取り組んでもらいたい。